

令和 7 年 9 月 25 日

課 名 地域政策局公共交通政策課

担当者 担当課長（交通活性化担当）矢島

内 線 2585

芸備線再構築協議会の実証事業について

1 要旨・目的

芸備線再構築協議会が実施している実証事業について、増便列車の運行が決定している令和 7 年 7 月から 11 月までの取組内容などについて報告する。

なお、この実証事業は、芸備線の可能性を最大限追求して、地域経済効果の最大化を図ることとしており、その結果は「再構築方針」策定の議論に活用される。

〔参考〕芸備線再構築協議会の概要

- 特定区間：備後庄原駅（庄原市）～備中神代駅（岡山県新見市）
 - 構 成 員：中国運輸局（議長）、岡山県、広島県、新見市、庄原市、
広島市、安芸高田市、三次市、J R 西日本、学識経験者 ほか
 - 位置づけ：特定区間の交通手段再構築を協議する場
- ※ 広域的な見地から特定区間以外の区間も含めて広島駅～備中神代駅間の区間について議論を行う。

2 現状・背景（経緯）

令和 7 年 7 月 1 日 広島県議会 6 月補正予算（実証事業等負担金）成立

※ 岡山県、新見市、庄原市においても補正予算を確保

7 月 9 日 第 4 回芸備線再構築協議会において、実証事業等の協議会予算承認

3 実証事業の概要

- （1）芸備線の増便・ダイヤ変更による鉄道サービスの拡充
- （2）増便列車等に接続する二次交通の設定
- （3）芸備線を活用したにぎわいの創出
- （4）取組内容を効果的に発信するプロモーションの実施



4 取組内容

- （1）芸備線の増便・ダイヤ変更による鉄道サービスの拡充

ア 臨時列車運行（7 月 19 日～11 月 24 日の土休日：合計 45 日間）

観光など、芸備線を利用して、庄原市・新見市への来訪者拡大を図ることを目的に実施

※ 利用状況については、「別紙」のとおり

【広島－備後落合間】

広 島 9:07 発 ⇒ 備後庄原 11:10 発 ⇒ 備後落合 11:54 着 快速「庄原ライナー」
備後落合 12:08 発 ⇒ 備後庄原 12:54 発 ⇒ 広 島 15:09 着 快速

【新見－備後落合間】

新 見 10:24 発 ⇒ 東 城 11:07 発 ⇒ 備後落合 11:57 着
備後落合 12:20 発 ⇒ 東 城 13:11 発 ⇒ 新 見 13:58 着

イ 日常利用の拡大に向けたダイヤ変更・運行区間延長

通学で芸備線を利用する高校生の利便性向上を目的に実施

【三次ー備後落合間】（8月21日～12月23日の平日（2学期））

（変更前）三次 19:29 発 ⇒ 備後庄原 20:05 着（備後庄原止）

（変更後）三次 18:41 発 ⇒ 備後庄原 19:16 発 ⇒ 備後落合 20:01 着

【新見ー備後落合間】（10月14日～）

（変更前）新見 18:20 発 ⇒ 備後落合 19:46 着 備後落合 20:10 発 ⇒ 新見 21:36 着

（変更後）新見 18:51 発 ⇒ 備後落合 20:18 着 備後落合 20:40 発 ⇒ 新見 22:09 着

※ 上記の列車以外に、新見ー東城間の一部列車についてダイヤ変更あり

（2）増便列車等に接続する二次交通の設定

ア 芸備線の駅と観光地を結ぶ無料バス運行（7月19日～11月24日の土休日）

芸備線と観光資源の接続と乗り継ぎを円滑にすることを目的に実施

※ 利用状況については、「別紙」のとおり

- ・ 無料周遊バス（東城駅～上帝釈～神龍湖）
- ・ 無料シャトルバス（備後西城駅～ひろしま県民の森）

イ 日常利用の拡大に向けた乗合タクシーの運行

住民の芸備線利用を促進することを目的に実施

- ・ 西城地域及び東城地域（小奴可地区）で、予約型乗合タクシーを平日運行（早期の実施に向けて調整中）

（3）芸備線を活用したにぎわいの創出

芸備線の利用を促すことや、地域での消費を喚起することを目的に実施

ア 列車を活用した取組

- ・ 備後庄原駅～備後落合駅間の列車内でオーディオドラマをストーリー配信
声優とコラボし、芸備線ラッピング列車「さとやまトレイン」に描かれた高校生をアニメキャラに見立てたオーディオドラマを製作

イ 駅周辺のイベント

- ・ 「東城まるごとフェス」（仮称）（11月3日開催）を再構築協議会主体で実施
東城駅構内のプラットホームを活用した音楽イベントのほか、町内の歴史ある街並みを生かした芸術・文化に関するイベントを実施
- ・ 地域が主体となって実施する取組の支援
 - ☐ 比婆山駅 90 周年記念比婆山駅まつり（9月20日開催）
 - ☐ 備後落合駅開業 90 周年記念イベント（10月5日開催）
 - ☐ 庄原駅前フェス（10月18日開催）



ウ 芸備線の利用拡大に向けたコンテンツの造成

① 観光ツアーの造成

- ・ 臨時列車の運行等に併せて、着地型観光ツアーを造成・販売
 - 夏の比婆山お散歩登山（広島～備後落合）7/26・8/30 実施
 - 道後山お散歩登山&りんご狩り（広島～備後落合）9/20・10/4・10/11 実施
 - 芸備線で行く帝釈峡秘境めぐり（広島～東城）10/18・10/25 実施
 - 芸備線で行く秋の雄橋の旅（広島～東城）11/1・11/8・11/15 実施 など

② スマホによるデジタル周遊スタンプラリーの実施

- ・ 庄原市内の観光スポットに設置するQRコードを読み取り、スタンプを獲得した参加者に、グッズや特産品を抽選でプレゼント

③ 駅弁の販売

- ・ 地域の特産品を使った駅弁を開発し、駅やイベント等で販売

④ その他

- ・ 企画乗車券等の設定
- ・ 移住体験ツアーの実施 など



（４）取組内容を効果的に発信するプロモーションの実施

芸備線再構築協議会が実施する実証事業の取組を周知することを目的に実施

ア 専用ホームページ開設（９月１９日～）

【URL】<https://geibiline.com>

イ キャンペーンタイトル

「自然・美味・神話の宝庫 芸備線 ～新見・庄原へGO!～」

ウ プロモーション用ロゴ



ヘッドマーク風ロゴ



文字組みロゴ

5 今後の対応

- 芸備線の可能性を最大限追求していくため、庄原市を始めとした芸備線沿線各市や、地域の関係団体などと連携し、日常利用と観光利用の両面から実証事業に着実に取り組んでいく。
- また、地域経済効果が最大化されるよう、実証事業の取組状況を把握して、必要な見直しを行うなど、PDCAサイクルを回しながら取り組むとともに、令和7年12月以降の取組については、内容が決まり次第、報告する。
- 加えて、構成員間で協議を行った上で、実証事業の1年間実施を含む全体スケジュールを確定させるとともに、7月19日から11月24日までの4か月間とされているダイヤ増便については、実証事業の土台であること、取組の周知から定着に一定の時間を要すること、春夏秋冬の季節に応じた移動需要の変化を踏まえる必要があることから、1年間実施されるよう、引き続き、中国運輸局に対して、関係者間の調整を求めていく。

6 予算（単県）

12,745 千円（令和7年度6月補正予算 12,588 千円を含む）

実証事業の主な進捗状況について

1 臨時列車運行（7月19日～11月24日の土休日：合計45日間）の利用状況

【広島～備後落合間】

単位：人

区 分	（広島→）三次→備後落合 快速庄原ライナー（三次10：41発）			備後落合→三次（→広島） 快速（備後落合12：08発）		
1便当たり （月単位）	三次 10：41発	備後庄原 11：10発	備後落合 11：54着	備後落合 12：08発	備後庄原 12：54発	三次 13：23着
7月（5日間）	39	37	35	19	19	20
8月（9日間）	44	43	41	19	18	20
全体平均	42	41	39	19	19	20

【新見～備後落合間】

区 分	新見 → 備後落合 普通（新見10：24発）			備後落合 → 新見 普通（備後落合12：20発）		
1便当たり （月単位）	新見 10：24発	東城 11：07発	備後落合 11：57着	備後落合 12：20発	東城 13：11発	新見 13：58着
7月（5日間）	23	17	15	26	23	22
8月（9日間）	19	17	17	31	28	28
全体平均	20	17	16	29	26	26

（参考）快速「庄原ライナー」利用状況（令和元年度～6年度）※備後庄原駅到着時点

区分	令和元年度 秋季 15日間	令和2年度 秋季 11日間	令和3年度 秋季 16日間	令和4年度 秋季 18日間	令和5年度		令和6年度	
					夏季 11日間	秋季 18日間	夏季 13日間	秋季 15日間
1便当たり	44	35	29	27	27	29	25	10

2 増便列車等に接続する二次交通の利用状況

【芸備線の駅と観光地を結ぶ無料バス運行（7月19日～11月24日の土休日）】

単位：人

1日当たり（月単位）	備後西城駅～県民の森	東城駅～帝釈峡
7月（5日間）	3.6	1.8
8月（9日間）	2.4	5.2
全体平均	2.9	4.0